

第 1 6 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 7 年 9 月 3 0 日 午後 2 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 2 1 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	武田 康典	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 8 番 瀬治山秋美、 1 7 番 金川 勇次

議事日程

第 1	報告 (許可返上)	農地法第 5 条の規定による許可書の返上報告について
第 2	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 3	議案第 9 2 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 4	議案第 9 3 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 9 4 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 6	議案第 9 5 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 7	議案第 9 6 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 8	議案第 9 7 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)
第 9	議案第 9 8 号	農用地利用規程の認定に係る意見の聴取について

会 長

それでは、只今から、第１６回農業委員会総会を開催致します。本日の出席委員は、２１名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長

本総会での議事録署名委員の指名をいたします。

議事録署名委員は、８番 瀬治山秋美 委員、１７番 金川勇次 委員にお願いします。

報告：農地法第５条の規定による許可書の返上報告について

会 長

まず報告、議案第６９号で審議した農地法第５条の規定による許可書の返上がありましたので、事務局より説明させます。

事務局

農地法第５条の規定による許可書の返上について報告いたします。平成２７年６月２２日付シレイ６００２－５－２１にて、農地法第５条の規定のより許可された土地について、平成２７年８月５日付で返上願書の提出があり、平成２７年９月１日に宮崎県南那珂農林振興局にて受理されました。返上の理由につきましては、譲受人は許可後、一般個人住宅の建設に着手しようとしたところ、出入り口に利用する渡人所有の市道編入協議が難航し、工事着手の目途がたたないことから、申請地での建設を断念しました。譲受人により売買契約の解約の申し出をし、解約したため、農地法第５条の許可書返上に至っております。また、譲受人においては、一般個人住宅の早期建設に向け、今回の議案第９４号受付番号２番で、新たに申請されていることを申し添えます。以上でございます。

報告：農地法第１８条第６項の規定による届出について

会 長

次に、農地法第１８条第６項の規定による届出について事務局より報告させます。

事務局

農地法第１８条第６項の規定による合意解約について報告いたします。

今回の合意解約は２件でございます。内容といたしましては、賃借人等の申し出が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長

報告はお聞きのとおりであります。

議案第 9 2 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長

次に、議案第 9 2 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。議案第 9 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 9 2 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番、2 番、5 番、6 番の所有権移転に関する 4 件と、受付番号 3 番と 4 番の貸借権の設定に関する 2 件の合計 6 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、50 アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、であり、

今回の許可申請受付番号 1 番から 6 番の 6 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。尚、受付番号 3 番と 4 番の 2 件については、経営移譲に関する貸借権の設定であります。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番と 2 番の 2 件の説明をお願いいたします。

10 番

議案第 9 2 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の所有権移転に

10番

関する2件であります。まず、受付番号1番につきましては、耕作利便のため隣接地を所有する受人が譲り受けるものです。受人世帯は毎年食用甘藷を作付されており、農業従事状況についても、本人と妻、息子2人の従事がある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地には、隣接所有地同様、食用甘藷を作付される計画であり問題ありません。次に、受付番号2番の渡人は、今回離農する為、受人へ売買するものです。申請地には、水稻を作付する計画であり、受人は毎年水稻と野菜を作付されており、農業従事状況についても、本人が300日以上で妻、子の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。尚、申請地周辺も水稻地帯である為、農薬散布、水利調整参加などの影響はありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番と2番の2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

次に、大東地区委員会より、受付番号3番と4番の2件の説明をお願いします。

16番

議案第92号、農地法第3条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号3番の使用貸借権の設定と受付番号4番の賃借権の設定に関する2件であります。この2件の受人は同一者でありまして、受付番号3番の渡人が農業者年金を受給するに当たり受人である後継者へ経営移譲し、引き続きマンゴー、金柑を栽培していく計画であります。受付番号4番につきましても、同様の理由で借り換えするものです。受人世帯においては、果樹農家でありまして、将来的にはハウス金柑の面積拡大を目標に取り組まれており、農業従事状況においても、本人が300日以上に従事があり、両親の従事もある為、農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。申請地の周辺は畑作地帯ではありますが、今日まで周辺に影響を与えたことは無く問題ないと考えます。以上、大東地区委員会において、受付番号3番の使用貸借権の設定と4番の賃借権の設定の2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

次に、市木地区委員会より、受付番号5番と6番の2件の説明をお願いします。

22番

議案第92号、農地法第3条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号5番と6番の所有権移転に関する2件であります。まず、受付番号5番につきましては、渡人は高齢により規模縮小するものであり親族である受人へ贈与するものであります。申請地は、水稻の苗床として利用する計画であり、受人は、毎年水稻とポンカンを栽培しており問題ありません。又、農業従事状況においても、本人と夫、義母の農業従事がある

22番

ため、農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。次に、受付番号6番につきましては、受人の規模拡大に伴い渡人が応諾し売買するものです。受人世帯においては、毎年、水稻、オクラ、ゴボウを作付しており、農業従事状況においても、本人が年間200日以上、両親の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。申請地周辺は水田地帯であり、同じく水稻とオクラを作付される計画であり、農薬の使用については、地域の防除基準に遵守させていくため問題ないと考えます。以上、市木地区委員会において、担当委員の報告を受け、受付番号5番と6番の所有権移転に関する2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今から、議案第92号、受付番号1番から6番の6件について、質疑に入ります。
質疑はございませんか？

(なしの声)

会長

無いようですので、議案第92号、受付番号1番から6番の6件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長

異議なしということですので、議案第92号、受付番号1番から6番の6件については、許可することに決定します。

議案第93号：農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について

会長

次に、議案第93号は、農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第93号、受付番号1番の1件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第93号、農地法第4条の規定による許可申請は受付番号1番の1件であります。農地法第4条第2項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

事務局

- 「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合
- 「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合
- 「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合
- 「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合
- 「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の1件についての申請地農地区分は、農地法第4条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第4条第2項1号ロには該当しておりません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番の1件につきましては、農地法第4条第2項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。
それでは、大東地区委員会より受付番号1番の1件の説明をお願いします。

16番

議案第93号、農地法第4条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号1番の1件でございます。受付番号1番の申請人は、申請地を豚舎として利用しておりましたが廃業したため、現在、物置倉庫として活用しており、今後も必要なため申請されたものです。申請地は申請人の住宅に隣接した敷地内にあり、土砂流失崩壊やその他の災害を発生させる恐れは無いため、何等問題ありません。以上、大東地区委員会において、受付番号1番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第4条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。
これより、議案第 9 3 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。
質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 9 3 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 9 3 号、受付番号 1 番の 1 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 9 4 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 9 4 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 9 4 号、受付番号 1 番から 9 番の 9 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 9 4 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 5 番と 9 番の所有権移転に関する 6 件と、受付番号 6 番から 8 番の一時転用に関する 3 件の合計 9 件であります。農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

事務局

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の1件の申請地農地区分につきましては、農地法第5条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第8条第1項1号に規定されている、住居の環境を保護するため定める地域「第一種住居地域」に区分されるため、「第3種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。次に、受付番号2番から5番と9番の5件の申請地農地区分につきましては、農地法第5条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。次に受付番号6番から8番の3件の申請地につきましては、農用地区域内にある農地ですが、転用のための権利移動の不許可の例外、「農地法施行令第18条第1項1号イ、一時的な利用に供するために行うものであって、利用目的を達成する上で必要であると認められること」に該当し、「同号ロ、農業振興地域整備計画の達成に支障をおよぼすおそれがないと認められるものであること」である意見書が申間市より問題ないと提出されているため、農地法第5条第2項各号に該当しておらず、許可要件を満たしていると思われます。また、受付番号6番につきましては、所有者が死亡しているため、相続人代表での申請となっておりますが、相続権を有する全ての者の同意を得ており問題ありません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から9番の9件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われますので、皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

10番

議案第94号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番と2番の2件であります。まず、受付番号1番については、受人は現在、両親と兄の家に居住しておりますが、遠方居住の夫が定年退職後に帰郷し、同居するために住宅を建設するものであります。北面は受人名義の住宅敷地、南面は学校用

10番

地、東面は宅地、西面は市道であり、周囲に農地はありません。汚水については、点検枥を經由し市下水道に、雨水等については、溜枥を利用し市道側溝へ流す計画であり問題ありません。次に、受付番号2番につきましては、受人は現在、家族4人で借家に居住しておりますが、子供の成長に伴い手狭になったことから申請地に住宅を建築する計画であります。周囲の農地所有者とは既に日照関係等影響を与えないよう協議済みであり、境界にはブロックを積み土砂流失防止に努めるため被害を及ぼす恐れはありません。尚、汚水については、点検枥を經由し市下水道へ排水し、雨水等については、溜枥を利用し、市道側溝へ流す計画であり問題ないと考えます。以上、福島地区委員会において、受付番号1番と2番の2件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

次に、大東地区委員会より、受付番号3番の1件の説明をお願いします。

16番

議案第94号、農地法第5条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号3番の1件でございます。渡人は、仕事の都合上、不在な日が多く管理が困難な状況から受人が買い受け山林として管理していかれるとのことです。又、受人は、定期的の下払い、枝打ち、間伐等の作業を行い管理していかれるようです。申請地の周辺は山林に囲まれているため問題はありません。以上、大東地区委員会において、受付番号3番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

次に、本城地区委員会より、受付番号4番から8番の5件の説明をお願いします。

18番

議案第94号、農地法第5条の規定による許可申請について、本城地区は受付番号4番から8番の5件でございます。まず、受付番号4番と5番については、受人が同一者であり、場所も同一地帯でありますので併せて報告いたします。この2件の申請地は周囲を山林に囲まれ条件が悪く管理できないことから材木業を営営する受入へ売買し、受入は山林として管理していく計画であります。周辺一帯山林である為、影響を与える恐れはなく問題ないと考えます。次に、受付番号6番から8番の3件につきましても同一案件でありますので併せて報告いたしますが、昭和44年設置の市道吾社百田線の新橋は老朽化が著しく、今回架け替え工事を行うに当たり迂回路が必要なため、串間市が一時転用により工事着手するものです。工事については、28年度中に工事完了をする予定であり、周辺農地に影響を与えないよう十分対策を講じ、仮設道路については事故防止等に

18番 も十分配慮される計画であり、問題ないと考えます。以上、本城地区委員会において、受付番号4番から8番の5件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくお願ひします。

会 長 次に、市木地区委員会より、受付番号9番の1件の説明をお願いします。

22番 議案第94号、農地法第5条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号9番の1件でございます。受付番号9番の渡人は、遠方居住で管理できないことから、受人が植林を行い所有する山林と一緒に管理する計画であります。申請地の大部分が周囲を山林に囲まれており、一部住宅地に位置する箇所がありますが、周囲に農地はない為、問題ないと考えます。以上、市木地区委員会において、受付番号9番の1件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしくお願ひします。

会 長 説明はお聞きのとおりでございます。
これより、議案第94号、受付番号1番から9番の9件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長 ないようですので、議案第94号、受付番号1番から9番の9件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長 異議なしということですので、議案第94号、受付番号1番から9番の9件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長 次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成２７年９月分につきましては、串間市長より平成２７年９月１６日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。
内容につきましては、議案第９５号・所有権移転が１件・面積が１，３０６㎡、議案第９６号・受人が認定農業者である利用権設定が６件・面積が１５，０８１㎡、議案第９７号・受人が一般農業者である利用権設定が１件・面積が２，０１３㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。それでは、ただいまから市からの提案について、審議に入ります。

議案第９５号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第９５号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。それでは、議案第９５号、受付番号１番の１件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第９５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号１番の１件であります。この１件について、説明いたします。
「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、
第１号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。
第２号) イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。
第２号) ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。
であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件については、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番の１件の説明をお願いします。

１０番

議案第９５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号１番の１件であります。この１件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第９５号、受付番号１番の１件について、質疑に入ります。質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案９５号、受付番号１番の１件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第９５号、受付番号１番の１件について、決定して市へ通知します。

議案第９６号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会 長

次に、議案第９６号は、農用地利用集積計画の承認について、認定農業者分について、であります。審議に入ります前に、当該議案に１８番委員に関係する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第２４条の「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退席をお願いします。暫時休憩いたします。

（ １８番委員退席・退室 ）

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

会 長

議案第 9 6 号は、受付番号 1 番から 6 番の 6 件になっておりますが、審議の都合において、先に、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 9 6 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分であります。今回の譲受人が認定農業者分につきましては、受付番号 1 番から 6 番の 6 件であります。先に、受付番号 1 番の 1 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件につきましては、議案第 9 5 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、本城地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

1 9 番

議案第 9 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、本城地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。先に 1 番の 1 件について説明いたします。この 1 番の全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、本城地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 9 6 号、受付番号 1 番の 1 件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 9 6 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長 異議なしということですので、議案第 9 6 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定して市へ通知します。
暫時休憩いたします。

(1 8 番委員入室・着席)

会 長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次に、議案第 9 6 号、受付番号 2 番から 6 番の 5 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明をさせます。

事務局 議案第 9 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業
者分、先程説明いたしました、受付番号 1 番の 1 件を除く、受付番号 2 番から 6 番の 5 件について説明いたし
ます。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 2 番から 6 番の 5 件につきましては、議案第 9 5
号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8
条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。また、受付番号 6 番の 1 件につきましては、所
有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経
営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項第 4 号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることと
なっております。ただし、契約期間が 5 年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の 2 分の 1
を超える同意が得られていれば足りるとなっております。受付番号 6 番の 1 件につきましては、契約期間が 5
年を超えておらず、所有権を有する者の 2 分の 1 をを超える同意が得られているため、該当要件を満たしており
ます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長 説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに
補足の説明をお願いします。まず、本城地区委員会より、受付番号 2 番の 1 件の説明をお願いします。

1 8 番 議案第 9 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業
者分、本城地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。先程説明いたしました 1 番を除く受付番号 2 番
の 1 件について説明いたします。この 1 件の全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」でありま
す計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の
保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることな
どの該当要件を、本城地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 2 番の 1 件については、該
当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号 3 番から 6 番の 4 件の説明をお願いします。

2 2 番

議案第 9 6 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、市木地区は受付番号 3 番から 6 番の 4 件であります。この 4 件について説明いたします。この 4 件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、担当委員の報告を受け市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 3 番から 6 番の 4 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 9 6 号、受付番号 2 番から 6 番の 5 件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 9 6 号、受付番号 2 番から 6 番の 5 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 9 6 号、受付番号 2 番から 6 番の 5 件について、決定して市へ通知します。

議案第 9 7 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会 長

議案第 9 7 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。それでは、議案第 9 7 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 9 7 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号 1 番の 1 件であります。

事務局

この１件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件につきましては、議案第９５号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、市木地区委員会より、受付番号１番の１件の説明をお願いします。

２２番

議案第９７号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分、市木地区は受付番号１番の１件であります。この１件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、担当委員の報告を受け市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方をお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第９７号、受付番号１番の１件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案９７号、受付番号１番の１件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第９７号、受付番号１番の１件について、決定して市へ通知します。暫時休憩いたします。

(農業振興課・農政企画担当者 入室)

会 長

議案第 9 8 号：農用地利用規程の認定に係る意見聴取について

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、議案第 9 8 号は、道場・小田代地区であります、「OH道地区農用地利用改善団体」の農用地利用規程の認定に係る意見聴取について、であります。それでは、農業振興課・担当者から説明を求めます。

(農政企画係 担当者説明)

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

それでは、只今の説明に対し、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、担当課の退席を求めます。

暫時休憩いたします。

(農政企画係 担当者退席・退室)

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、只今の説明に対しまして、委員の皆さんより意見を求めます。何かありませんか。

1 7 番

議案第 9 8 号について、農用地利用規程を提出された道場・小田代地区が本城地区管内でありますので、意見を述べさせていただきたいと思います。今回の「OH道地区農用地利用改善団体」から提出された、農用地利用規程につきましては、農業者の高齢化・後継者不足による担い手不足という道場・小田代地区の現状から、同地区の農業振興を図るため、農用地の有効利用と農業経営改善を促進する取り組みとして設けられたものでございまして、OH道地区農用地利用規程第 2 条第 1 項各号にありますように、①作付地の集団化、②農作業の効率化、③農用地の集積と耕作放棄地防止・解消を図るための農用地利用改善団体の設立であることから、提出された農用地利用規程の認定について妥当であると思います。

会 長

17番委員から出された意見につきましては、先ほど説明のあった農用地利用規程が、地域の実情に十分に踏まえた規定になっているとの意見でございます。
他に意見はありませんか。

(なしの声)

会 長

それでは、お諮りいたします。

17番委員から出された意見を付して、農用地利用規程が妥当であると市へ通知することに、異議はありませんか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、出された意見を付して農用地利用規程が妥当であることを通知します。
以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。慎重・審議、誠にありがとうございました。